

2026.03.11

Special Exhibition

# MOCO Collection

## Omnibus

—Debut Appearances and Comebacks—PART 2

特別展

M  
O  
C  
O  
C  
O  
C  
O  
L  
L  
E  
C  
T  
I  
O  
N  
S  
I  
O  
N  
O  
M  
U  
N  
I  
B  
A  
S

初公開・久々の公開

P  
A  
R  
T  
2



2026.4.11 | 土 | ————— | 8.2 | 日 |

大阪市立 東洋陶磁美術館

THE MUSEUM OF ORIENTAL CERAMICS, OSAKA

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26 電話:06-6223-0055 <https://www.moco.or.jp>  
〔右上〕色絵美人文八角大壺(いろえびしんもんちゅうかくおぼけ) 江戸時代(1700-1730年代) 有田焼 写真:三好和真  
〔右下〕青花鉄砂壺(あまのやぶ) 室町時代(16世紀後半) 瀬戸焼 写真:加藤成文  
〔左下〕深田庄司 青磁白黒流瀼大鉢(あおくろくろくろくおぼけ) 昭和26年(1951) 産 尾形幹雄氏寄贈

〔休館日〕月曜日、5月7日(木)、7月21日(火)

※但し、祝日の5月4日(月)、7月20日(月)、および4月27日(月)、7月27日(月)は開館

〔開館時間〕午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

〔入館料〕一般1,600(1,400)円、高校生・大学生800(700)円

※( )内は20名以上の団体料金 ※中学生以下、障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)、大阪市内在住の65歳以上の方(要証明)は無料 ※上記の料金で館内の展示すべてをご覧いただけます

〔主催〕大阪市立東洋陶磁美術館 〔共催〕毎日新聞社

2026.03.11

大阪市立東洋陶磁美術館

# 特別展「MOCOコレクション オムニバス —初公開・久々の公開— PART2」

Special Exhibition

“MOCO Collection Omnibus —Debut Appearances and Comebacks— PART2”

当館は、旧安宅産業株式会社が収集した世界屈指の中国・韓国陶磁コレクションである、「安宅コレクション」965件を住友グループから寄贈されたことを記念して、1982年11月に開館しました。また、1996年から1998年にかけて、李秉昌博士イ・ビョンチャンから韓国陶磁を中心とするコレクション351件の寄贈を受けました。実は、これらの核となるコレクション以外にも、開館以来40年余の間に、篤志家とくしかの方々から様々なコレクションが当館に寄贈され、収蔵品の質と量が拡充されてきました。

本展では、ほとんどが初公開となる茶道具を中心とした「松恵コレクション」のうち、PART1で紹介しきれなかった作品や、久々の公開となる輸出用の古伊万里コレクション、民藝運動を主導した陶芸家濱田庄司はま だしょうじの作品を中心に、明時代に中国の景德鎮窯で日本向けにつくられた「古染付」こぞめつけなどを含む「堀尾幹雄コレクション」ほり おみき お、朝鮮時代につくられた文房具のひとつである水滴のコレクションを、オムニバス方式で紹介します。

## ● 開催要項

- [名称] 特別展「MOCOコレクション オムニバス —初公開・久々の公開— PART2」
- [会期] 2026（令和8）年4月11日（土）～8月2日（日）
- [会場] 大阪市立東洋陶磁美術館  
〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26（大阪中央公会堂東側）  
電話：06-6223-0055 FAX：06-6223-0057
- [休館日] 月曜日、5/7（木）、7/21（火）  
※但し、祝日の5/4（月）、7/20（月）、および4/27（月）、7/27（月）は開館
- [開館時間] 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- [入館料] 一般1,600（1,400）円、高校生・大学生800（700）円  
※（ ）内は20名以上の団体料金  
※中学生以下、障がい者手帳などをお持ちの方（介護者1名を含む）、  
大阪市内在住の65歳以上の方（要証明）は無料  
※上記の料金で館内の展示すべてをご覧いただけます
- [主催] 大阪市立東洋陶磁美術館
- [共催] 毎日新聞社

## ● 内覧会

2026（令和8）年4月10日（金） 午後1時30分～4時30分

[報道に関する問い合わせ先]

特別展「MOCOコレクション オムニバス —初公開・久々の公開— PART2」広報事務局  
〈(株) Nene Laco.(ネネラコ)内〉 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル  
TEL：06-6225-7885 FAX：06-7635-7587 MAIL：toyotoji-moco.pr@nenelaco.com

[美術館に関する問い合わせ先]

大阪市立東洋陶磁美術館  
TEL：06-6223-0055 FAX：06-6223-0057  
MAIL：toyotoji-koho@moco.or.jp

2026.03.11

## ● 本展の主な見どころ

### 1. 「<sup>しょうけい</sup>松恵コレクション」の茶道具のほとんどが初公開

松恵コレクションは、茶道具として使われた中国・韓国・日本のやきものを中心に、書画などの掛軸や茶杓・釜なども含みます。コレクション名は、茶の湯に造詣が深かった、寄贈者の父母の名前を一字ずつ取って名付けられました。以前に数点を先行して公開していましたが、前回のPART1において、当館への寄贈後初めて30点余をまとめて紹介しました。今回は、PART1だけでは展示しきれなかった、江戸時代以前につくられたやきものの茶道具や、近代の陶芸家の制作した茶碗などを公開します。

### 2. 特色のあるコレクションを久しぶりにまとめて公開

美術品のコレクションには、収集したコレクターの嗜好が濃厚に反映されています。匿名氏が収集したヨーロッパの王侯貴族向けにつくられた古伊万里は、彼らの城館を飾るにふさわしい絢爛豪華な絵付けを特徴としています。堀尾幹雄氏は、陶芸家の濱田庄司と親交を結び、濱田から直接作品を入手していました。さらに堀尾氏は、濱田と共に民藝運動を主導した思想家の柳宗悦（やなぎむねよし）も注目した、軽妙な筆致で図様が描かれた「古染付」と呼ばれる中国陶磁も収集しました。また当館には、寄贈・購入により朝鮮時代の水滴がまとまった点数収蔵されています。それぞれのコレクションが当館でまとめて公開されてから、最短のもので7年、最長のもので18年経過していました。久しぶりにまとめて公開する各コレクションの特色をお楽しみ下さい。

[報道に関する問い合わせ先]

特別展「MOCOコレクション オムニバス 一初公開・久々の公開— PART2」広報事務局  
(株) Nene Laco.(ネネラコ)内 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル  
TEL : 06-6225-7885 FAX : 06-7635-7587 MAIL : toyotoji-moco.pr@nenelaco.com

[美術館に関する問い合わせ先]

大阪市立東洋陶磁美術館  
TEL : 06-6223-0055 FAX : 06-6223-0057  
MAIL : toyotoji-koho@moco.or.jp

2026.03.11

## ● 展示構成と主な作品

### 第1部（展示1） 古伊万里コレクション

匿名氏より寄贈された、江戸時代にヨーロッパの王侯貴族向けに輸出された古伊万里を中心としたコレクションのうち、いわゆる「美人文」を主題とする作品11件を紹介します。



色絵美人文六角大壺（いろえびじんもんろっかくおおつぼ）

江戸時代（1700-1730年代）／有田窯

写真：三好和義

元禄年間（1688-1704）以降に流行した金欄手様式の色絵磁器。華麗な着物姿の四人の遊女と小さな禿（かむろ）が、桜や牡丹など花々を愛でる様子が描かれています。「見返り美人」を思わせる姿態が印象的です。



色絵傘美人文皿（いろえかさびじんもんさら）

江戸時代（1700-1730年代）／有田窯

写真：三好和義

橋を渡る豪華な着物姿の遊女と思われる女性と、後ろから大きな傘を差しかける侍を描く、いわゆる「傘美人」のモチーフです。遠景には山水楼閣を描き、名所巡りの情景を思わせます。雨を思わせる表現も注目です。

〔報道に関する問い合わせ先〕

特別展「MOCOコレクション オムニバス 一初公開・久々の公開」PART2 広報事務局  
〈(株) Nene Laco.(ネネラコ)内〉 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル  
TEL : 06-6225-7885 FAX : 06-7635-7587 MAIL : toyotoji-moco.pr@nenelaco.com

〔美術館に関する問い合わせ先〕

大阪市立東洋陶磁美術館  
TEL : 06-6223-0055 FAX : 06-6223-0057  
MAIL : toyotoji-koho@moco.or.jp

2026.03.11

**第2部（展示2・3） 堀尾幹雄コレクションの濱田庄司**

堀尾幹雄（ほりおみきお）氏（1911–2005）は、陶芸家の濱田庄司（1895–1978）と深い親交を結び、濱田の作品を多数収集し、普段の生活の中で使っていました。当館に寄贈された約200件のなかから代表的な作品49件を選び、一堂に展示します。

**濱田庄司 青釉白黒流掛大鉢（あおぐすりしろくろながしかけおおばち）**

昭和26年（1951）頃

堀尾幹雄氏寄贈

緑色の青釉の上に、黒褐色の釉薬と白濁した釉薬が、円を結ぶように柄杓で流し掛けられています。濱田は、日本各地の窯で用いられた技法を、力強く昇華させており、手の動きがそのまま投影された文様は、躍動感に満ちています。

**濱田庄司 赤絵角瓶（あかえかくびん）**

昭和31年（1956）頃

堀尾幹雄氏寄贈

昭和2年（1927）から翌年にかけて沖縄を訪れた濱田は、現地のやきものに惹かれ、その柔らかな色調をモデルにしたうつわも手掛けました。側面に描かれた「唐黍（とうきび）文」も、沖縄のサトウキビ畑でのスケッチがもとになっています。

[報道に関する問い合わせ先]

特別展「MOCOコレクション オムニバス 一初公開・久々の公開— PART2」広報事務局  
〈(株) Nene Laco.(ネネラコ)内〉 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル  
TEL : 06-6225-7885 FAX : 06-7635-7587 MAIL : toyotoji-moco.pr@nenelaco.com

[美術館に関する問い合わせ先]

大阪市立東洋陶磁美術館  
TEL : 06-6223-0055 FAX : 06-6223-0057  
MAIL : toyotoji-koho@moco.or.jp

2026.03.11

### 第3部（展示4） 堀尾幹雄コレクションの古染付・天啓赤絵

明時代末期の天啓年間（1621–1627）頃に、中国の景德鎮窯で日本の茶の湯向けにつくられた「古染付」と「天啓赤絵（てんけいあかえ）」は、軽妙な筆致で描かれた図様や、バラエティーに富んだ形を特徴とします。堀尾幹雄コレクションに含まれる作品28件により、その魅力を紹介します。



青花牧牛図皿（古染付）（せいかにぼくぎゅうずさら こそめつけ）

明時代（17世紀）／景德鎮窯

堀尾幹雄氏寄贈

コバルトを含んだ青く発色する顔料を用い、軽妙な筆致で放牧された水牛が愛らしく描かれています。牧牛図は中国や日本の水墨画にも描かれた画題であり、画面上部には水墨画と同様に漢詩が添えられています。



五彩更紗文皿（天啓赤絵）（ごさいさらさもんさら てんけいあかえ）

明時代（17世紀）／景德鎮窯

堀尾幹雄氏寄贈

「天啓赤絵」は、古染付に赤・緑などの色絵を加えたものです。亀甲文と石畳文が半分ずつ描かれています。異なる文様を半分ずつ組み合わせたデザインは、「片身替わり」と呼ばれています。更紗などの染織品に着想を得たのでしょうか。

[報道に関する問い合わせ先]

特別展「MOCOコレクション オムニバス 一初公開・久々の公開」PART2 広報事務局  
〈(株) Nene Laco.(ネネラコ)内〉 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル  
TEL : 06-6225-7885 FAX : 06-7635-7587 MAIL : toyotoji-moco.pr@nenelaco.com

[美術館に関する問い合わせ先]

大阪市立東洋陶磁美術館  
TEL : 06-6223-0055 FAX : 06-6223-0057  
MAIL : toyotoji-koho@moco.or.jp

2026.03.11

#### 第4部（展示6） 松恵コレクション

中国・韓国・日本の陶磁器を中心に構成された茶道具のコレクション。PART1だけでは展示しきれなかったため、PART2でも引き続き初公開となる作品を32件紹介します。



織部弾香合（おりべはじきこうごう）

桃山時代（17世紀前半）／美濃窯

松恵コレクション

写真：加藤成文

香合は、炉や風炉（ふろ）に炭をくべる「炭手前（すみでまえ）」の際に、香を入れる小さな容器です。格子文や斜線文は、桃山時代に流行した「辻が花」と呼ばれる染織品のデザインを模倣しています。



河井寛次郎 花碗（はなわん）

昭和15年（1940）頃

松恵コレクション

写真：加藤成文

河井寛次郎（かわいかんじろう）は、柳宗悦・濱田庄司とともに民藝運動を主導した陶芸家です。昭和戦前期以降、河井は褐色の鉄絵、赤紫色の辰砂（しんしゃ）・青い染付の顔料を用い、伸びやかな筆致で草花文を器に描きました。

[報道に関する問い合わせ先]

特別展「MOCOコレクション オムニバス 一初公開・久々の公開— PART2」広報事務局  
〈(株) Nene Laco.(ネネラコ)内〉 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル  
TEL : 06-6225-7885 FAX : 06-7635-7587 MAIL : toyotoji-moco.pr@nenelaco.com

[美術館に関する問い合わせ先]

大阪市立東洋陶磁美術館  
TEL : 06-6223-0055 FAX : 06-6223-0057  
MAIL : toyotoji-koho@moco.or.jp

2026.03.11

**第5部（展示7） 朝鮮時代の水滴コレクション**

朝鮮時代では、中国の文人趣味から影響を受けながら、様々な文房具がやきものでつくられ、賞玩されました。そのなかでも、形や文様において最もバリエーションに富む水滴をまとめて39件展示します。

**青花鉄砂葡萄山水文八角形水滴「癸卯六月日分院」銘**

（せいかてっしゃぶどうさんすいもんはっかくけいすいてき きぼうろくがつひぶんいん めい）

朝鮮時代・1783年

写真：六田知弘

八角に面取りされた胴部に、中国湖南省の洞庭湖（どうていこ）周辺に広がる「瀟湘八景（しょうしょうはっけい）」と思しき風景が細緻に描かれています。注口と把手は「海駝（ヘテ）」と呼ばれる伝説上の獣に象られ、全体的に装飾性が増しています。

**青花鯉形水滴（せいかこいがたすいてき）**

朝鮮時代（19世紀）

写真：六田知弘

鯉は、中国の黄河中流にある龍門を登りきると龍に変身するという「登龍門」の伝説から、立身出世の象徴でした。ひげや鱗（うろこ）、鰭（ひれ）などが丁寧に彫られており、小さく点じられた瞳が、ユーモラスで愛らしい表情を生んでいます。

[報道に関する問い合わせ先]

特別展「MOCOコレクション オムニバス 一初公開・久々の公開— PART2」広報事務局  
〈(株) Nene Laco.(ネネラコ)内〉 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル  
TEL : 06-6225-7885 FAX : 06-7635-7587 MAIL : toyotoji-moco.pr@nenelaco.com

[美術館に関する問い合わせ先]

大阪市立東洋陶磁美術館  
TEL : 06-6223-0055 FAX : 06-6223-0057  
MAIL : toyotoji-koho@moco.or.jp

2026.03.11

## ● 関連プログラム

### 1. 【「いまこそ聞きたい」シリーズ講座】

各テーマをわかりやすく解説する初心者向けの講座です。

- ・「伊万里ってなに?—ヨーロッパを魅了した日本磁器—」 小林仁（当館 学芸課長代理）

2026年5月9日（土）

- ・「民藝ってなに?—濱田庄司と河井寛次郎を中心に—」 梶山博史（当館 学芸課長代理）

2026年6月13日（土）

- ・「水滴ってなに?—朝鮮時代の文人世界—」 宮崎慎一郎（当館 学芸員）

2026年7月4日（土）

いずれも午前10時30分～12時／午後2時～3時30分

※午前10時30分からの部と午後2時からの部の内容は同一です

参加費 500円（別途入館料が必要です）

会場 大阪市立東洋陶磁美術館 地下講堂

※事前申込制・先着順（各回定員45名）

※約1カ月前から詳細情報が公開されます。

当館ホームページのチケット購入画面からお申し込みください。



### 2. おしゃべりOK!なくてもOK! MOCOファミリースペシャルデー

2026年7月27日（月）午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

美術館にお子さん連れで行こうと思っても、お子さんが泣いたり、騒いだりして、なかなか行きにくいな、という保護者の方々が多いのではないのでしょうか?そんな皆様のために、赤ちゃん、お子さん連れでも気兼ねなくご覧いただけるよう、特別な開館日を設けました。ベビーカーもご利用いただけます。

館内には授乳室もあります。普段の美術館では、できるだけ静かにご覧いただくようお願いしていますが、当日はご家族やお友達と楽しくお話ししながらご覧いただけます。

[報道に関する問い合わせ先]

特別展「MOCOコレクション オムニバス 一初公開・久々の公開— PART2」広報事務局  
〈(株) Nene Laco.(ネネラコ)内〉 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル  
TEL : 06-6225-7885 FAX : 06-7635-7587 MAIL : toyotoji-moco.pr@nenelaco.com

[美術館に関する問い合わせ先]

大阪市立東洋陶磁美術館  
TEL : 06-6223-0055 FAX : 06-6223-0057  
MAIL : toyotoji-koho@moco.or.jp

2026.03.11

● 同時開催

〈特別展示〉

1. 国宝「油滴天目茶碗」(展示ロビー1)
2. 「青花虎鶺文壺」(展示ロビー2)

〈コレクション展〉

- 「純真之美—李秉昌コレクション韓国陶磁」(展示5)
- 「喜土愛楽—現代陶芸コレクション」(展示8)
- 「至高雅器—安宅コレクション中国陶磁」(展示9)
- 「天青無窮—安宅コレクション中国陶磁」(展示10)
- 「清廉雅品—安宅コレクション韓国陶磁」(展示11)
- 「百鼻繚乱—沖正一郎コレクション鼻煙壺」(展示12)
- 「泥土不滅—現代陶芸コレクション」(展示13)

[報道に関する問い合わせ先]

特別展「MOCOコレクション オムニバス —初公開・久々の公開— PART2」広報事務局  
〈(株) Nene Laco.(ネネラコ)内〉 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル  
TEL : 06-6225-7885 FAX : 06-7635-7587 MAIL : toyotoji-moco.pr@nenelaco.com

[美術館に関する問い合わせ先]

大阪市立東洋陶磁美術館  
TEL : 06-6223-0055 FAX : 06-6223-0057  
MAIL : toyotoji-koho@moco.or.jp

【広報用画像一覧】  
 特別展「MOCOコレクション オムニバス 一初公開・久々の公開— PART2」

本展の展示物等の画像を、広報素材としてご提供いたします。  
 下記、申込フォームよりお申込ください。

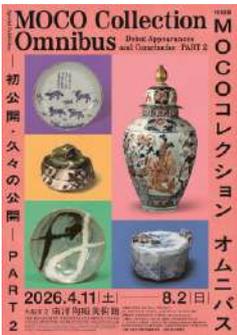
【広報用画像申込フォーム】

<https://forms.gle/sHF69vKRq75srb5H9>

※難しい場合は申込書に必要事項をご記入のうえ、広報事務局までご送付ください。



■ 広報画像をご使用の際は、別紙に記載の「画像使用全般に関する注意」を必ずご確認ください。

<p>【1】</p> 	<p>【2】</p> 	<p>【3】</p> 
<p>【4】</p> 	<p>【5】</p> 	<p>【6】</p> 
<p>【7】</p> 	<p>【8】</p> 	<p>【9】</p> 
<p>【10】</p> 	<p>【11】</p> 	

報道に関するお問合せ

特別展「MOCOコレクション オムニバス 一初公開・久々の公開— PART2」広報事務局<ネネラコ内>  
 Mail/ toyotoji-moco.pr@nenelaco.com Tel/ 06-6225-7885 Fax/ 06-7635-7587  
 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル

**【広報用画像クレジット一覧・申込書】**  
**特別展「MOCOコレクション オムニバス 一初公開・久々の公開」 PART2**

**【画像使用全般に関する注意】**

- ・本展広報用画像の使用は、展覧会の紹介を目的とした報道に限らせて頂きます。ご使用可能期間は本展会期終了までです。
  - ・ご使用の際は、展覧会名、会期、会場名、所定の作品データ、所定のクレジットを必ずご掲載ください。
  - ・作品クレジット・キャプションは、作品名・年代・サイズ・撮影者の順に記載してください。掲載スペースに制限がある場合は、サイズを省略するか、高さのみの表記でも構いません。
  - ・作品全体を掲載してください（作品のトリミングは禁止）。画像の余白をトリミングしていただくことは可能です。文字や他のイメージを重ねたり、変形させることはできません。
  - ・本展終了後の掲載、画像の二次使用はできません。本展会期中であっても再放送や転載をされる場合は広報事務局にご連絡ください。
  - ・展覧会基本情報と広報画像の確認のため、校正を本展広報事務局にお送りくださるようお願いいたします。
  - ・掲載誌・紙（ご紹介号）、掲載URL、同録DVDほかを下記広報事務局まで1部お送りください。
- ご希望の画像に☐をお願いいたします

No.	クレジット・キャプション ※キャプションの間は全角アキ
1☐	色絵美人文六角大壺 江戸時代（1700-1730年代）／有田窯 高78.5 cm、幅39.4cm 大阪市立東洋陶磁美術館 写真：三好和義
2☐	色絵傘美人文皿 江戸時代（1700-1730年代）／有田窯 高5.0cm、径31.4cm 大阪市立東洋陶磁美術館 写真：三好和義
3☐	濱田庄司 青釉白黒流掛大鉢 昭和26年（1951）頃 高12.2cm、径49.8cm 大阪市立東洋陶磁美術館（堀尾幹雄氏寄贈）
4☐	濱田庄司 赤絵角瓶 昭和31年（1956）頃 高26.4cm、幅11.6×11.5cm 大阪市立東洋陶磁美術館（堀尾幹雄氏寄贈）
5☐	青花牧牛図皿（古染付） 明時代（17世紀）／景德鎮窯 高4.5cm、径20.5cm 大阪市立東洋陶磁美術館（堀尾幹雄氏寄贈）
6☐	五彩更紗文皿（天啓赤絵） 明時代（17世紀）／景德鎮窯 高3.1cm、径26.4cm 大阪市立東洋陶磁美術館（堀尾幹雄氏寄贈）
7☐	織部弾香合 桃山時代（17世紀前半）／美濃窯 高5.0cm、幅6.0cm 大阪市立東洋陶磁美術館（松恵コレクション） 写真：加藤成文
8☐	河井寛次郎 花碗 昭和15年（1940）頃 高9.9cm、径12.4cm 大阪市立東洋陶磁美術館（松恵コレクション） 写真：加藤成文
9☐	青花鉄砂葡萄山水文八角形水滴「癸卯六月日分院」銘 朝鮮時代・1783年 高13.1cm、幅19.4×16.6cm 大阪市立東洋陶磁美術館 写真：六田知弘
10☐	青花鯉形水滴 朝鮮時代（19世紀） 高9.0cm、幅13.4×6.7cm 大阪市立東洋陶磁美術館 写真：六田知弘
11☐	ポスタービジュアル ※クレジットなし

貴社名／	
お名前／	
部署／	ご所属／
貴媒体名／	媒体種／
媒体発行・運営社名／	
サイトURL／	
掲載号・露出予定日／	月号（ 月 日号）／ 月 日発売予定 <input type="checkbox"/> WEBへの転載あり
TEL／	FAX／
E-MAIL／	
媒体プレゼント用チケット／ <input type="checkbox"/> 希望（2組4名まで）※1点以上の広報用画像使用必須 ※提供枚数に達した場合、提供を終了いたします ※発送は準備が出来次第いたします	
お送り先／〒	

**報道に関するお問合せ**

特別展「MOCOコレクション オムニバス 一初公開・久々の公開」 PART2 広報事務局 <ネネラコ内>  
 Mail / toyotoji-moco.pr@nenelaco.com Tel / 06-6225-7885 Fax / 06-7635-7587  
 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル